

デジタル教材プラットフォーム



いつもの教材で
学びと指導を
アップデート



教育を「なめらかに」変える

Libry(リブリー)は出版社と提携し、
信頼のある教科書や教材をデジタル化します。
ただデジタル化するだけでなく、
学習履歴に基づいた個別最適学習を実現します。

また、先生の宿題管理業務や評価などの支援を行い、
生徒の学習支援だけでなく、先生の働き方改革も同時に実現します。

1人1台端末が整備される中、
生徒にも先生にも日常的にご活用いただける、
従来の学びや指導に「なめらか」に馴染む
デジタル教材プラットフォームです。



第10回 日本e-Learning大賞
デジタル参考書部門賞



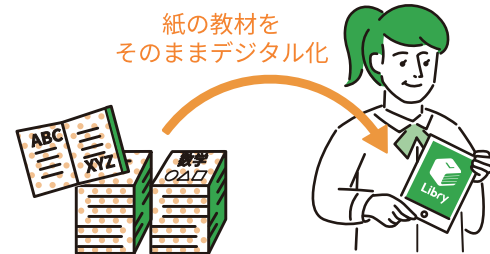
第2期ドコモイノベーションビレッジ
ベスト・ストレッチ賞 等

生徒のメリット

1 スムーズな教材閲覧ができるデジタル教材

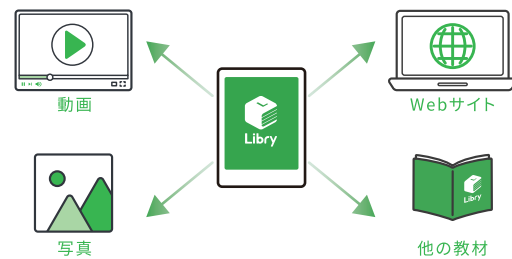
Libryはいつも使っている教材をそのまま電子化し、問題検索などの学習サポート機能を備えたデジタル教材プラットフォームです。

圧倒的な軽さとサクサク感で生徒や先生方にも抵抗感なくご利用いただいています。



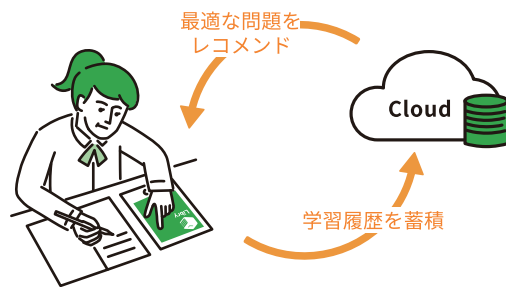
2 デジタルならではの便利機能

Libryは紙面の閲覧だけでなく、生徒のノート画像を保存したり問題と連動した動画も確認したりすることができるので、場所を選ばず手軽に学習がはじめられます。



3 AIを駆使した個別最適化学習

生徒が問題を解くと学習履歴が蓄積されます。履歴に基づき、Libryが生徒一人ひとりに合わせて最適な問題を推薦します。いつもの教材で個別最適化学習ができます。



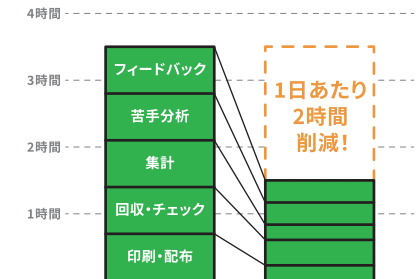
生徒の声

- 自分が問題をどのくらい解いたかの記録が残るので効率よく勉強がしやすい。
- 学習履歴を確認しながら勉強ができるので自習の習慣がついた。
- 復習すべき問題をお勧めしてくれるので苦手分野が克服できた。

先生のメリット

1 らくらくノート回収で、宿題管理業務を大幅軽減!

先生向けに、先生用管理ツール「Libry for Teacher」を提供しています。宿題機能を使うことで、宿題の配信・回収・集計が自動で行えるため、成績が集計しやすくなります。また生徒のノート画像もその場で確認できるので、先生の業務時間削減にもつながります。



2 学習状況を可視化し、クラスや個人に合わせた指導改善を実現!

クラス全体の学習状況を自動で一覧化。苦手な生徒が多い問題を見つけて授業で補えたり、個人ごとの問題正答率も可視化できたりするので、生徒一人ひとりの理解度を確認しながら指導にあたることができます。

生徒名	解答率	正答率	問1	問2	問3	問4	問5
たくみ	100%	60%	○	×	△	○	○
はるか	80%	60%	○	×	○	○	-
まい	100%	100%	○	○	○	○	○
こうじ	80%	20%	△	×	○	×	-

3 データを活用した観点別評価が可能に

3観点の学習評価にも対応。「主体的に学習に取り組む態度」も、Libryに蓄積された学習履歴データから、学習に対する粘り強さや調整力などを見取することで、客観的かつ明確な規準での評価が可能です。

公正な主体性評価がLibryで実現できる!



先生の声

- 学習の習慣化を実現できたことで生徒の数学への関心を高められた。
- 生徒自身が学習履歴機能を活用することで成績が大きく伸びた。
- 課題進捗状況がリアルタイムで見え、効果的な学習支援に役立てられている。



Libry 機能紹介

これまで通りの学習スタイルで、
これまで以上の学習効果を実現！

ノートとペンを使う、学習スタイルはこれまで通り！

データの蓄積と分析でこれまで以上の学習効果が実現！

1 学習したい教材を選ぶ

2 紙の教材と同じようにページを進める

3 選んだ問題を紙とペンで解く

4 自己採点して正誤入力



Libryで購入した教科書・教材の一覧から、学習したい書籍を選びます。



紙の教材と同じようにページをめくって、問題を選びます。



問題を選ぶと、その問題だけが表示されます。これを見ながら、いつも通りノートとペンで勉強します。



解説を見ながら自己採点し、結果を入力します。解答にかかった時間は自動で計測されます。

学習履歴がすぐわかる！



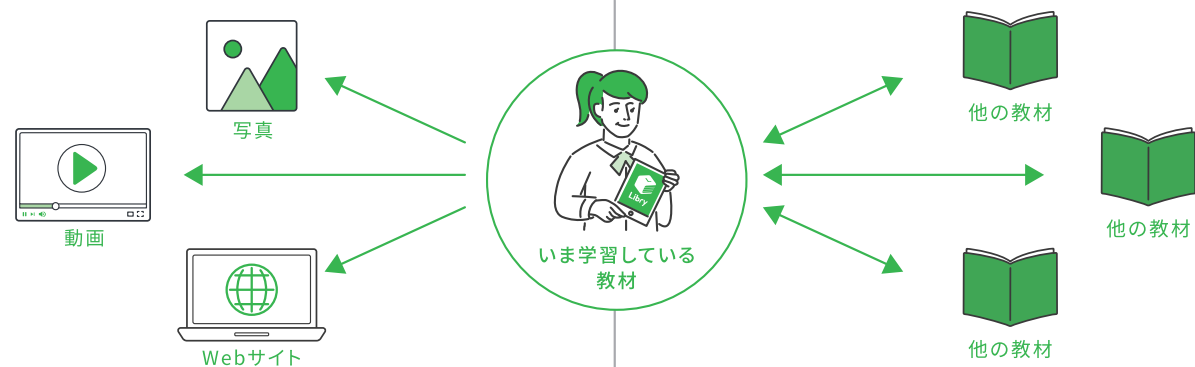
学習履歴の一覧から、間違えた問題やお気に入りの問題を絞り込めるので、テスト前に大活躍します。

日頃のがんばりがグラフに！



これまでの勉強時間や解いた問題数などが見える化され、生徒のモチベーションが上がります。

Libry だからできること



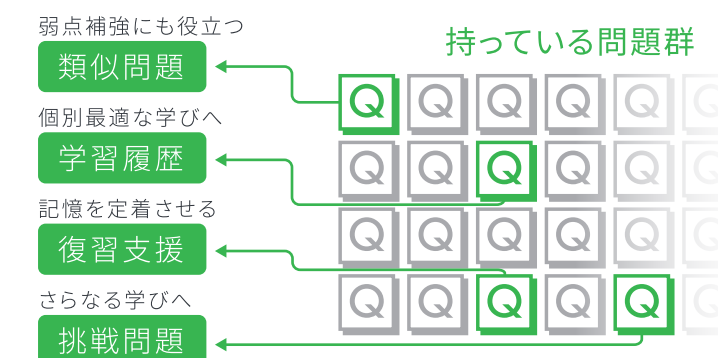
さらに



ノート写真を学習履歴に紐づけて保存。学習や解答のプロセスも記録できます。

蓄積したデータを分析！

生徒一人ひとりに合わせて最適な問題をレコメンド！





Libry for Teacher

機能紹介

忙しい先生の業務支援はもちろん
新課程に則した評価まで幅広くサポート

あっという間に課題配信！回収や管理もラクラク！

① 課題を出すとき

問題を選んでサクッと配信

先生用ツール「Libry for Teacher」を使うと、生徒に向けて端末から簡単に課題を出すことができます。課題のタイトルなどを登録し、Libryで持っている教材の中から問題を選ぶだけで、素早く確実に生徒に課題が配信されます。



② 課題を集めるとき

回収は簡単！集計も自動！

生徒が、課題を解いたノートの写真と自己採点の結果をLibryから送信すると、そのデータがLibry for Teacherに届きます。生徒ごとの解答率や正答率は自動で集計され、画面上で確認できます。もちろん、ノートを集める手間は一切かかりません。



③ 課題を集めたあと

苦手分析もフィードバックも、先生用ツールで全部できる！

● 生徒の進捗や苦手がわかる

クラスごとに各問題の正答率が自動で集計されるので、苦手分野を把握して授業を組み立てることができます。また、提出期限前でも進捗状況がわかるので、課題への着手を促すこともできます。

● 生徒のノートを一覧できる

生徒がアップロードしたノートの写真は、問題ごとに一覧表示できます。不正解のノートを見ながら、生徒が問題をどう解いたのか、どこでつまづいたのかなど、丁寧な検証を行えます。

● スタンプでフィードバック

生徒が提出した課題に対して、「スタンプ」を使ってフィードバックを送ることができます。褒めるスタンプだけでなく、課題の再提出を促すスタンプなどもあり、きめ細かいフィードバックが可能です。

クラスの苦手な問題が一目でわかります！

生徒名	解答率	正答率	問1	問2	問3	問4	問5
たくみ	100%	60%	○	×	△	○	○
はるか	80%	60%	○	×	○	○	-
まい	100%	100%	○	○	○	○	○
こうじ	80%	20%	△	×	○	×	-

間違えた生徒のノートだけを表示させることもできます！

コメントあります

OK!

丁寧に書きましょう

OK!

まよくだいへん
ましたき

新課程に則した「観点別評価」の実現をサポート

学校でルーブリックを作成

- ルーブリック評価支援機能を使えば、ルーブリックを活用した観点別評価の運用が簡単にできます。
- まずは学校でどのような子どもたちを育てたいかを定め、ルーブリックで表現します。
- ルーブリックの評価軸は各学校で作成いただけるのももちろんのこと、Libryが独自に開発した評価軸をそのまま活用いただくことも可能です。

オリジナル問題を作成・配信

- 先生で自身で作成した独自のオリジナル問題を作成し、ルーブリックを設定して配信することができます。
- オリジナルの問題で「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」といった資質・能力を評価し、指導することができます。
- 記述式の論述問題やレポート課題、宿題だけではなく授業中のワークなどにも活用いただけます。

\\ 新機能 //

生徒一人ひとりの学習履歴を指導や評価に活用

● 生徒の自主学習を支援

生徒の学習履歴をExcel形式でダウンロードすることができます。生徒ごとの問題演習量の推移や学習している時間帯、各問題のクラス内正答率などを先生が把握できるようになります。それらの学習履歴データをもとにして、生徒一人ひとりに合わせた指導や、クラスの学習内容の定着状況を把握することができます。

● 観点別評価に利用

生徒の学習履歴をExcel形式でダウンロードすることができます。宿題以外での問題演習量や、一度間違えた問題を復習しているかなどを先生が把握できるようになります。それらの学習履歴データをもとにして「主体的に学習に取り組む態度」の客観的な評価などを実施することができます。

問題の取組量はどれくらいか

どれだけ自習しているか

どの時間帯によく勉強されているか

学習履歴

Excel形式でダウンロードできるので自由に加工できる！

よくある質問とその回答

Q アカウントの有効期限はありますか？

A アカウントに有効期限はございませんが、教材の利用期間終了後、予告なく終了する場合があります。

Q インターネットに接続しなくても利用できますか？

A オフラインでもご利用いただけます。ただし、類似問題の検索・QRコンテンツの視聴・宿題の送受信など、一部の機能はオフラインではご利用いただけません。

※事前にオンライン環境下でLibryにログインし、教材をダウンロードしていただく必要があります。
なお、教材はデータサイズが大きいため、Wi-Fi環境下でのダウンロードをおすすめしております。

Q 導入にむけ他の先生を説得したい場合はどうすればよいですか？

A Libryには校内稟議書サンプルのご用意がございます。
雛形に沿って必要事項をご入力いただければ幸いです。
校内稟議書サンプルは右記QRコードよりアクセスできます。



Q 初期費用、毎月の費用はかかりますか？

A 初期費用や毎月の費用はかかりません。ただし、教科書・問題集の購入には費用がかかります。

Q 操作がわからないときなどのサポート窓口はありますか？

A 先生用のサポートサイトがございます。是非ご利用ください。
また生徒用にもサポートサイトがございますのでご安心ください。

お試しアカウント申し込み受付中

Libryのサンプル版をお試しいただけます。
ご希望の方は、出版社営業担当者にお問合せください。

※全ての機能はご利用いただけません。

Libry 利用開始までの4ステップ

この度はLibryの導入をご検討いただきありがとうございます。
以下の利用開始までの4つのステップをチェックしながらお手続きを進めてください。

STEP
1

申込書を出版社へ提出する

- 利用する教材と数量の確定
- 申込書を記入し出版社へ提出

出版社にて内容確認後、申し込みメールアドレス宛に承認依頼メールが届きますのでお待ちください。
メールが届かない場合、出版社にご確認をお願いいたします。

STEP
2

申込内容を承認する

- 承認依頼メールから承認画面を開き注文内容を確認
メール件名は「注文承認手続きをお願いいたします。(ご注文コード:***)」です。
- 利用規約を確認し「注文承認」ボタンを押す
注文承認手続きを行うとご注文が確定し、請求が発生します。
必ず商品や数量に間違いがないか確認の上でお手続きを行ってください。
注文内容に変更がある場合は注文承認せず、出版社にご連絡ください。

STEP
3

新規アカウントを発行する

※ 利用者全員が既にアカウントをお持ちの場合は、本ステップを省略しステップ4へ

- サポートページから申請フォームをダウンロード
- 申請フォームに必要事項を入力
- 申請フォームを sales@libry.jp へメール送信

STEP
4

教材(商品)をアカウントに割り当てる

- Libry for Teacherで教材(商品)をアカウントに割り当てる



お疲れ様でした、Libryの利用を開始しましょう!

Libryでは利用開始される先生向けに導入研修(オンライン)を実施しています。
研修をご希望の先生は cs@libry.jp までお気軽にご連絡ください。

※ 研修にお申し込みいただくためには、ステップ3の「アカウント発行」まで完了している必要があります。

Libryに関してお困りの場合は...

各種マニュアルやよくある質問をサポートサイトにまとめております。ぜひご利用ください。

<https://libry.force.com/teacher>

